

## 多面的な金融法人・機関投資家とのお取引

当行は、特定グループに属さない「中立性」と、金融債の販売で培った幅広いお取引先基盤を基に、リテイルをコア・ビジネスとする金融機関や機関投資家の皆様とのネットワークをより強固にし、高度な金融技術をベースとした「経営課題の相談相手」としてお役に立つよう努めております。

### プロフェッショナルな 資金運用ニーズに対応

当行が発行しております5年の利付金融債(い号興業債券(募集債))は、国内の代表的な中期債として市場より高い評価を受けております。当行は金融債の販売を通じ、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、農林系金融機関、生命保険会社・損害保険会社等の皆様と幅広いお取引関係を有しております。現在、資金量1,000億円以上の全国の金融法人の約3分の2の皆様から、コンスタントに金融債のご応募を頂いており、有力な投資家の皆様との緊密な関係は、他行他社の追随を許さないものと自負しております。このような関係は長期にわたるお取引を通じて築かれたものであり、事業法人・公共法人の皆様との取引関係とともに、当行の大きな財産であると考えております。

当行ではこのような金融法人、機関投資家の皆様のプロフェッショナルかつ多様な資金運用のニーズにお応えする為、銀行本体はもとより、興銀証券(株)をはじめグループ各社でも体制を整え、多面的な業務展開を図って参りました。

例えば、短期金融商品であるCP、資産担保証券(ABS)\*1)、投信をはじめとした多様な運用商品のご紹介、リスク管理の側面からの高度なデリバティブ取引、資産の有効活用の観点から有価証券運用信託、運用事務代行としてのカストディアービス、更に年金部門では投資顧問の受託に至るまで、グループを挙げて幅広い金融サービスを提供しております。

### 金融業のパートナーとして 多面的な分野での協力関係

金融法人、機関投資家の皆様との関係は、資産運用の分野に止まるものではなく、同じ金融業のパートナーとして各分野で様々な協力関係を築き上げております。また、「経営課題の相談相手」として、シンジケートローン、ローントレーディング、債権流動化、住宅ローン流動化、MBO等の分野において、お役に立つよう努めております。

その典型的な例としては、興銀第一フィナンシャルテクノロジー(株)を中心とした当行グループと(株)NTTデータとの共同プロジェクトで行っている「信用リスク計量化技術」の研究開発が挙げられます。この共同プロジェクトにより開発された信用リスク管理システムは、金融機関のリスク管理の為の重要なインフラとして、既に地方銀行58行が導入を決定し、本年5月にリリースしております。更に、複数の金融機関より採用の内定を頂いており、お取引先の高い評価を背景に、この分野のスタンダードとして確立されつつあります。

また、昨年12月にスタートした投信窓販業務についての販売ノウハウの共有化や、日本版401(k)(確定拠出型年金制度)導入を睨んだ協調関係の構築等も具体化しており、金融法人・機関投資家の皆様とご協力できる分野は、今後も益々広がっていくものと考えております。



#### 用語解説

(\*1)資産担保証券(ABS: Asset-Backed Securities)

貸付債権、売掛債権やリース債権等の資産を担保に、これら資産から生じるキャッシュフローを裏付けとして発行される証券。



い号興業債券については39ページもご参照ください。  
募集債の応募状況については23ページをご参照ください。  
資産担保証券(ABS)については50ページもご参照ください。  
MBOについては48ページをご参照ください。  
興銀第一フィナンシャルテクノロジー(株)については56ページをご参照ください。